

独立行政法人水産総合研究センター
平成 25 年度 契約監視委員会（第 1 回）議事概要

1. 日 時 平成 25 年 7 月 22 日（月） 14：00～17：05

2. 場 所 クイーンズタワー B 棟 7 階 D 会議室（神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3）

3. 出席者

委員長	細井 和昭	公認会計士
委 員	蒲池 孝一	公認会計士
委 員	鈴木 満	弁護士
委 員	並木 裕之	(株) 神奈川新聞社 常務取締役
委 員	朝比奈 清	(独) 水産総合研究センター 監事
委 員	杉田 賢一	(独) 水産総合研究センター 監事
		(独) 水産総合研究センター事務局

4. 議題

- ①平成 24 年度第 4 四半期の契約実績
- ②平成 24 年度第 4 四半期の契約の点検結果
- ③その他

5. 議事概要

・ 議題①平成 24 年度第 4 四半期の契約実績

契約実績、競争性のない随意契約及び一者応札・応募の類型別内訳、類型別の平均応札者数及び平均落札率などについて説明した。

・ 議題②平成 24 年度第 4 四半期の契約の点検結果

競争性のない随意契約案件及び一者応札・一者応募案件の取組結果について説明し、審議を行った。

・ 議題③その他

契約監視委員会で回収率の低さを指摘された入札等に関するアンケートについて、回収率向上の取組みにより、事務連絡発出後は 46.3%に向上した事を報告した。また、平成 24 年度の公益社団法人への支出に関する競争入札の点検結果を報告した。

「議題②平成24年度第4四半期の契約の点検結果」について、抽出審議案件10件の質疑応答は以下のとおり

(2か年連続一者応札・一者応募案件)

【72】福島県北部浅海域魚類採取業務（中央水研）

○特命随契ではないのか。

→平成25年1月中旬に委託元から急遽調査の指示があった。一般競争入札を行い落札者が決定してから特別採捕の許可を得る手順では調査の履行期限内に終了することが困難と予想されたため、目的の海域で漁業権を持つ者に対して公募とした。

○予定価格の積算について、大学、県の試験場など同様の業務を行う他機関から情報収集するなどの適正な価格設定に向けた工夫をして欲しい。

→ご指摘の方向に沿って、改善等を工夫していきたい。

○参考見積の船舶使用料と漁具使用料について、23年度と24年度で価格差があるのはなぜか。

→23年度は底引き網漁船、24年度は刺し網漁船で船舶や漁具が違うためである。

【70】RI廃棄物廃棄業務（中央水研）

○入札が見込める者が1者でも公募するのは、財務省通達「公共調達適正化について」によるものだが、競争性がなくても形式的に公募することは行政コストを高めている弊害になっており、通達の内容の見直しの時期にきているのではないか。管轄官庁に第3者委員会の指摘事項として提言してはどうか。

→センターとしては通達に従わざるを得ないが、機会があれば本委員会の意見を伝えていきたい。

(一者応札・一者応募案件)

【19】まぐろ類及びカツオの耳石切片作製・日周輪計測業務（国際水研）

○大学など同様の業務を行う他の機関から情報収集する、コンサルタントに依頼する等、予定価格を適正に算定する方法について、内部の競争入札等推進会議でも議論し、工夫して頂きたい。→ご指摘の方向に沿って、改善等を工夫していきたい。

(不落随契案件)

【63】シリンジ ほか293点（増養殖研）

○事務用品はインターネット上で価格の水準を調査できるのではないか。業者が入札参加しやすくするために、汎用品と特殊品を分けるのも一つの方法である。

→実験に使用するような特殊品は事務用品のようにインターネット販売では行っていない。試薬類は別にするなど、複数の業者が参加できるよう検討したい。

(複数応札案件)

【31】直読式多項目水質計（瀬戸水研）

- 入札者が2者に限定されているが、仕様書のスペックのうちどの点がネックとなっているのか。
- 赤潮調査のためには、クロロフィルと光量子を観測できることが必須であり、特に光量子は一般的な海洋観測項目には含まれない。
- 同様の観測機器を保有している機関から情報収集するなどにより、適正な予定価格を設定できるよう工夫すべきである。
- 適正な価格設定に向けて工夫してまいりたい。

【5】水産工学研究所研究本館空調設備その他改修工事（水工研）

- 5者の見積の金額に差があるのは何が要因か。
- 内訳で一般管理費に大きな差があった。
- 5者による入札が行われており、本案件は妥当と判断できる。
- センターが積上積算できるのであれば、そもそも参考見積を徴する必要はなかったのではないか。
- ご指摘のとおり、積上積算と参考見積は近い価格であったことから参考見積の必要はなかったと考える。

【52】国際水産資源研究所所属漁業調査船俊鷹丸 第2B種中間検査・臨時検査及び一般修繕（船舶管理課）

- 6回入札が行われ、うち3回は1者だけである。予定価格とは上限の価格であり競争を通じて市場で決まった価格が適正価格となる。入札回数は通常は3回程度と思われるが6回行った理由は何か。
- 特定調達案件のため、参加業者がいる限り何回でも入札を行うことになっている。
- 落札率97.6%となっており、センターの積み上げ方式による予定価格は、市場価格に近い値であったと考えられる。

(競争性のない随意契約案件)

【1】国際水産資源研究所所属漁業調査船俊鷹丸 船底外板部発錆拡大箇所塗装等整備業務（船舶管理課）

- 特命随契であるにもかかわらず落札率は79%となっており、予定価格をより厳密に設定する工夫が必要ではないか。
- ご指摘の方向に沿って、改善等を工夫していきたい。

(一者応札・一者応募案件)

【40】清水ポンプケースOリング ほか101点（西水研）

○非系列の業者が部品を調達することが難しい「ロックイン状態」であり、落札率が高いのは仕方がない。

○大口需要家であるドック業者が部品を調達した方がコストが安くなるのではないか。
→ドック業者に部品を購入させると一般管理費も発生し、納入に時間がかかる場合があるので、部品だけ別途購入し、それをドック業者に供給している。

○納期についても、大口需要家の方が融通がきくのではないか。いずれにせよ、部品の調達については、センター自らがする場合とドック業者がする場合とを比較分析し、よりコストが安くなる工夫をしてほしい。

→部品の調達方法については、よりコストが安くなる方法を検討してまいりたい。

【59】 2～3月分船舶用軽油（東関東地区）（船舶管理課）

○指摘事項なし

「議題③その他 入札等に関するアンケート調査の結果」について、質疑応答は以下のとおり

○仕様書について「内容が大まかすぎて理解できなかった」との回答が9件もある。仕様書があいまいであると、見積ができなくなる。仕様書を明確にするとともに、疑問点があれば質問してもらい、質問と回答を他の入札参加者も情報共有できるようにしてほしい。

→仕様書作成に当たっては明確になるよう心がけているところではあるが、ご指摘のとおり、今後とも仕様書の明確化と情報の共有に努めてまいりたい。

○重油について「物価の見込みが立たないので1ヶ月単位で入札して欲しい」と要望がある。「大幅な変動が生じた場合には変更契約の協議も可能」とあるが、過去に国が大幅な変動と認めたのは1970年代のオイルショックのみである。現在の原油価格の上昇が「大幅な変動」として認められ、現実的に協議は発動する可能性はあるのか。フレキシブルに対応してほしい。

→ご指摘の点を踏まえ、どのような対応が可能か検討してまいりたい。